



公立芽室病院 第98号 だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
または芽室町ホームページのトップ
ページからアクセスできます。

日本医療機能評価機構による 病院機能評価(Ver.6.0)の認定を取得しました

公立芽室病院院長 小窪 正樹



この度、公立芽室病院は日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.6.0)を受審し、同機構が定める「安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供している病院」として認定されました。是非、町民の皆さまには今まで以上に当院をご利用頂ければ幸甚に思います。

何時の時代も、適切で安心できる医療は常に求められてきましたが、それを的確に評価することは難しく、やむを得ず規模の大きな病院が選択されるという現状があったように思います。実際、当院では「赤ちゃんに優しい病院、BFH認定施設」、「全国に先駆けて行われた下肢静脈瘤の日帰り手術」、「乳がんのマンモグラフィ検査認定施設」「漢方治療」などなど全国レベルの治療を展開してきましたが、芽室町からも帯広市に流れる患者さんは多いようです。私は、当院に勤務した当初より、自院での医療や看護、診療技術部門等々に質の良い医療を提供しているという自負がありました。このことを町民の皆さま、当院ご利用の皆さまに是非知って頂きたいと考え、この度、第三者機関による評価を受けました。

昨今の病院における労働環境は、医療・介護のみならず、生活支援にまで及んでおり、一昔前よりは格段に忙しい毎日です。そんな中でも、何一つ文句を言わず夜遅くまで機能評価取得に向け準備を進めて下さった多くの職員に、病院の長として改めて感謝の意を表したいと思います。職員の皆さんは、謙虚さを保ちつつも、エビデンスに基づいた信頼に足る医療を提供しているという自信を持って仕事に励んで欲しいと思います。そして、町民の皆さまには、さらに一歩でも質の良い医療を提供したいという当院職員の気概を理解して頂ければ幸いです。

さて、地方病院での医師不足は当院においても深刻であります。来年度からは旭川医大と札幌医大から本格的に地域枠の医師が巣立って来ます。この機能評価取得により、彼らが少しでも当院での研修に興味を持つことがあるならばさらなる喜びであります。

患者さんが安心してかかれる病院、職員が生きがいを持って働ける病院を目指して、「機能評価認定病院」の名に恥じないよう、職員一同、さらに精進を重ねて前進したいと思います。機能評価取得のご報告と共に、町民及び当院ご利用の皆さまにおかれましては、今後とも当院へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

病院機能評価とは…

- ◇「日本医療機能評価機構」が病院の医療の質や経営について客観的な審査を行い、一定の水準を満たした医療機関に対し認定されます。
- ◇認定されると認定証(5年間有効)が交付されます。
- ◇評価される項目は、①病院組織の運営と地域における役割、②患者の権利と医療の質および安全の確保、③療養環境と患者サービス、④医療提供の組織と運営、⑤医療の質と安全のためのケアプロセス、⑥病院運営管理の合理性 の6領域です。
- ◇全国で2,360病院、北海道で132病院、十勝管内では当院を含め6病院が認定されています。

赤ちゃんにやさしい病院(BFH) の認定継続されました

8月3日(土)4日(日)東京で「母乳育児シンポジウム」が開催され、当院からは、谷垣副院長、助産師、看護師の計4名が参加してきました。

毎年、メンバーや人数は違いますが、参加し続けています。

今年は、当院が2006年にBFHに認定されて以来、2回目の継続評価(3年毎)の年でした。毎年、入院中や退院時、1か月健診時などの母乳率はどうか、下がってはいないか、医療介入はどうか、帝王切開率はどうか、などなどのデータや母乳育児支援の状況などを提出して、もし母乳率が下がっていたらどのような対策を行ったかなどの報告を行っています。今年も、その3年間の集大成で、このままBFHの認定を継続するに値するかなどの評価をWHO/ユニセフの代理を行う「日本母乳の会」の審査委員の再評価を受ける年で、事前にそのレポートを提出して今回の母乳育児シンポジウムに臨みました。

会場は東京のホテルの会場で行われ、参加者約1,100名の医師、助産師、看護師、学生、一般の方々などで、新しく今年度認定された4施設の認定授与式、そのあとは分刻みのスケジュールで「赤ちゃんにやさしい社会をめざして」をテーマに「あらためて母乳育児の原点に立ち返る～入院中の支援を見直す」「育児が困難な母親への母乳育児支援」などの講演、研究発表、翌日も早朝セミナーから始まり、講演、研究発表などびっしり続く内容でした。あらためて、諸先生方や他施設の方々の熱心な取り組みへの姿勢に感動させられる内容でした。

継続評価に関しては、当院は小児科常勤医師の不在というきびしい状況の中、無事、継続認定となりましたが、認定が保留となる施設もありました。当院の審査では課題もいただいています。今後はこの課題を改善するためにいっそう努力していきます。



めむろ☆育児サークル
「はぐ Hug」
ご案内



- ・妊娠中の方、子育て中の方、そのご家族などどなたでも参加OK
- ・助産師・保育士も毎回参加しています。妊娠中から出産後の疑問、不安なこと気軽に何でもきくことができます。

場 所：公立芽室病院 3階研修室
日 時：毎月第1・第3水曜日(10時30分～11時30分)
参加費：100円

予定しているテーマ

- 11月6日 マタニティカフェ「パパを引き込む育児」
- 11月20日 「おすすめ育児グッズの紹介」はぐ Hug スタッフが実際に使って、すばらしい!!とオススメする育児グッズを紹介します。
- 12月4日 マタニティカフェ「おっぱいに良いこと」
- 12月18日 「ヨガ&タッチケア」親子ヨガとタッチケアのコラボ、親子でゆったりとスキンシップしてみませんか